

第31回 市政e-モニターアンケート 「公共施設再編について」 集計結果

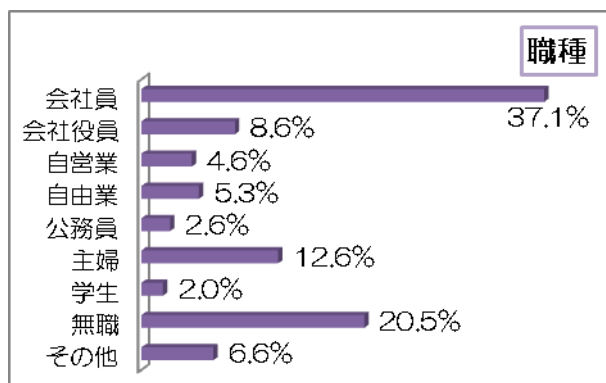
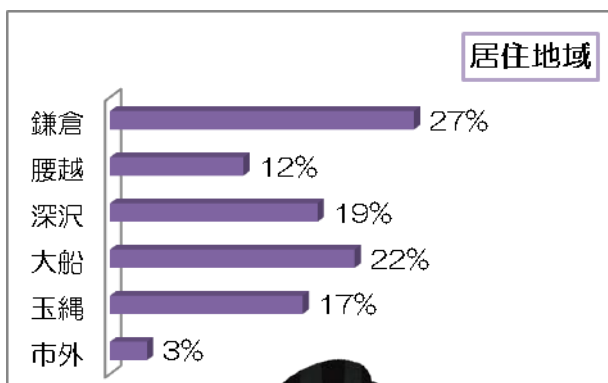
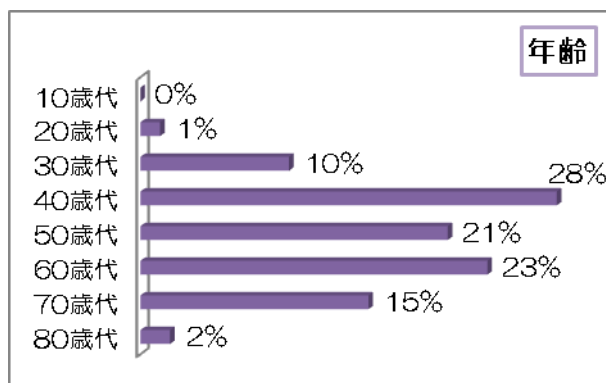
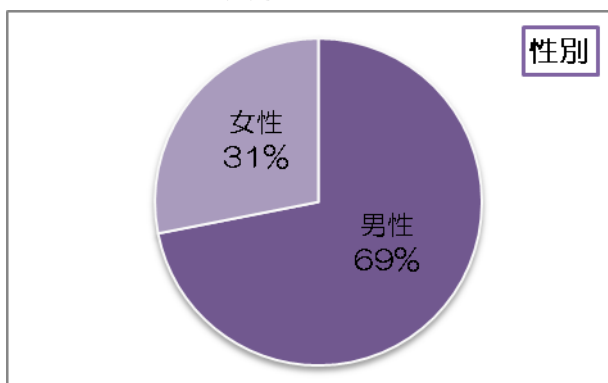
【テーマ】公共施設再編について

【目的】市では、平成27年3月に策定した「鎌倉市公共施設再編計画」に基づいて、本庁舎の整備方針の検討、及び地域拠点校の選定にかかる取組みを始めました。これに関連して「将来の本庁舎のあり方」「地域拠点校の選定等」について、ご意見をお聞かせください。

- ◆ アンケート送信日 : 平成28年2月9日（火）
- ◆ 実施期間 : 平成28年2月9日（火）～平成28年2月23日（火）
- ◆ 送信者数 : 382名（着信者数 370名）
- ◆ 回答者数 : 151名
- ◆ 回答率(対着信者数) : 40.8%（前回より +0.2ポイント）



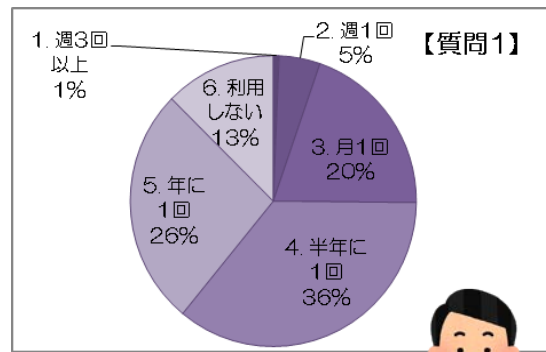
【今回の回答者の基本属性】



【(1) 将来の本庁舎のあり方】

【質問 1】(必須) 本庁舎を利用する頻度を教えてください。

1. 週に 3 回以上	1 名
2. 週に 1 回程度	7 名
3. 月 1 回程度	30 名
4. 半年に 1 回程度	54 名
5. 年に 1 回程度	40 名
6. 利用しない	19 名



【経営企画課】

本庁舎を利用する頻度は半年に1回以下の方が113名で約75%でした。ほとんどの方が、本庁舎を利用する機会は少ないことがわかりました。

【質問2】(必須) 【質問1】で「1～5」と回答した方にお聞きします。本庁舎を利用する主な目的を教えてください。

【複数選択可】



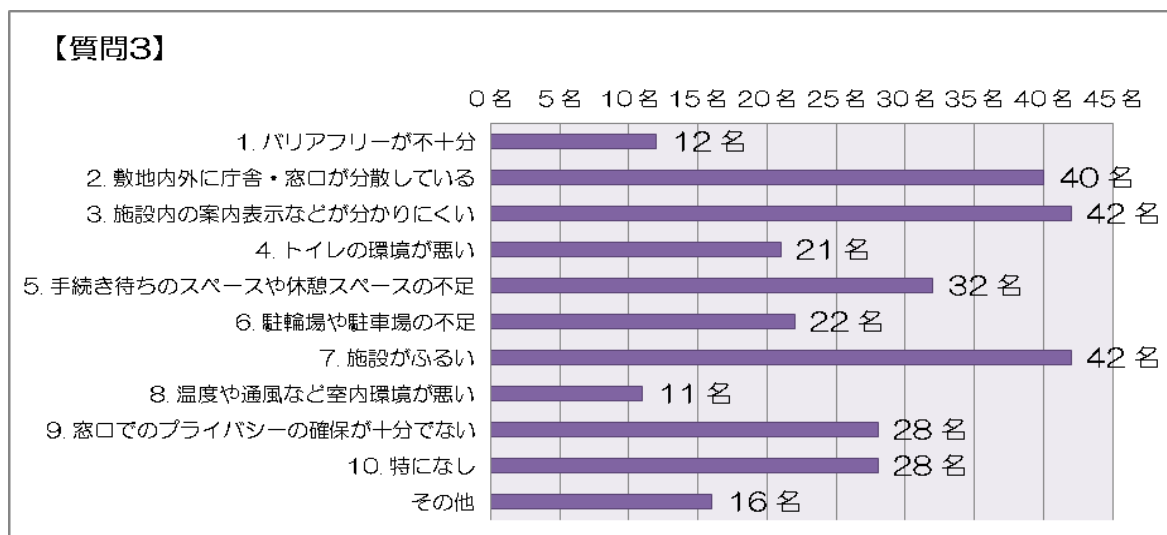
※「その他」の意見

- 授乳室の利用
- 行事などの情報（パンフレット）の確認
- 報告書の提出
- e-モニターの内容を説明してもらうため
- 市政の疑問点などの質問、自治会のイベントへの協力願い
- 腐葉土を取りに伺います。
- 主に自治会活動事務処理関係
- 駐車場でイベント参加
- バクテリアdeキエーロの購入

【経営企画課】

本庁舎を利用する主な目的は、証明書の取得や届出の手続きなどのための来庁であることがわかりました。窓口のあり方は時代と共に変わっていきますのでその他の利用目的も参考に庁舎のあり方を検討していきます。

【質問3】(必須) 【質問1】で「1～5」と回答した方にお聞きします。現在の本庁舎について、施設面で不便・不快と感じることを教えてください。【複数選択可】



※「その他」の意見（同様のご意見は集約しています）

- 母子家庭の面接は、プライバシーに関わる話にもかかわらず、衝立のみ、待っている人に筒抜け
- カウンターの無い部署、市民受付体制が不備の部署がある
- 部門でばらつきがあるものの、整理整頓がされておらず職場環境が劣悪なのが改善されていない
- 職員の多さに圧倒される
- 無目的に立ち寄れるスペースが欲しい（カフェやイベントコーナー等）
- 今後はマイナンバーで済ませられる事務手続きが増えると期待していますが、もっと積極的にPRし、その結果あまった人手とスペースをどのように有効活用していくのかもPRしてください
- 不快ではないが手狭な感じがする
- 薄暗い 不便で気持ちが暗くなる
- 駐車場の1台分のスペースが狭い
- 暗い
- 受付の窓口担当者が威圧的でおよそ親切感がうかがえない、よその役所のように若い愛想のいい女の子に変えてどうか
- 太陽光がもっと入ると良いと思う（湘南鎌倉総合病院のように）
- 庁舎内に入ったことがない
- 職員の机の上の書類等が乱雑でみっともない、まず、そこから改善すべき
- 色々相談したいのに子供の友達のお母さんが担当者で困っています
- 食堂がない、売店もあるのだろうか？分かりづらい



【経営企画課】

本庁舎を利用される132名の中で、特になしを除くと約80%の方が、不便・不快と感じられていることが分かりました。主な不便・不快に感じることは、施設の配置・案内等（分散してしまっていること、案内が分かりづらいこと、ふるいこと）、また、施設規模等（スペース不足、プライバシー確保が不十分など）でした。今後、検討を進めていく中で、大変参考となるご意見をいただくことができました。

【質問4】（必須）現在の本庁舎やその敷地は、下記のような課題を抱えています。

- ・ 建物の老朽化（築46年経過）
- ・ 地震発生後の機能維持の問題（最低限の耐震性は確保済）
- ・ 津波想定浸水範囲内に立地
- ・ 執務スペースなどの不足による庁舎の分散
- ・ 社会的変化への対応が不十分（バリアフリー化など）
- ・ 必要な建物規模の確保が困難（高さ面積などの制限）
- ・ 建て替えには埋蔵文化財保護に配慮が必要



このことから、市は平成28年度までに庁舎整備方針（建替え、長寿命化、移転など）を考えていくことをご存知ですか。

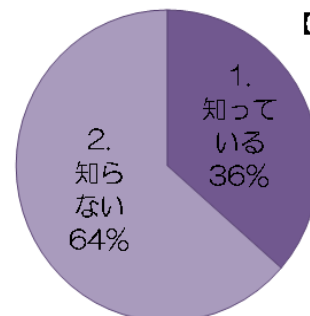
1. 知っている	55名
2. 知らない	96名

【経営企画課】

平成27年3月の公共施設再編計画の策定以来、計画策定や再編の取組みについて周知してきましたが、整備方針を検討していくことについては、4割程度の方の承知であることが分かりました。引き続き、周知・啓発に努めていきます。

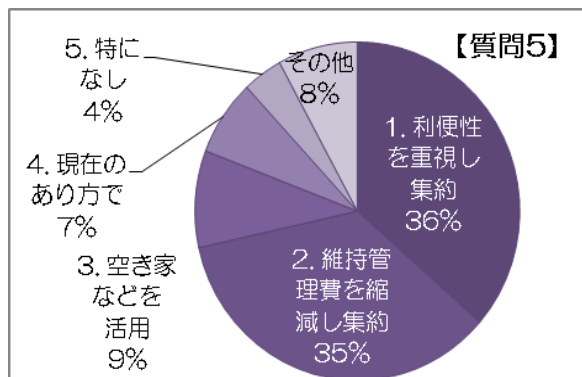


【質問4】



【質問5】(必須) 現在、市役所の庁舎は執務スペースなどの不足により、庁舎が分散しています。将来的な庁舎整備についてどのようにすべきと考えますか。もっともあてはまるものを1つお選びください。

1. 利用者の利便性を重視し、集約化すべき	55 名
2. 分散した庁舎の維持管理費用などを縮減するために、集約化すべき	53 名
3. 土地・建物を所有せず、民間の空き家などを活用した庁舎とすべき	14 名
4. 現在のあり方でよい	11 名
5. 特になし、わからない	6 名
その他	12 名



※「その他」の意見(同様のご意見は集約しています)

- 母子家庭へのゴミ袋配布ほか、各手続きを各行政センターでできるようにしてください
- IT化が進んでいく中で時代錯誤的に大きな箱物を建て、集約化する必要など全くない、IT化を進め無駄な雇用を減らし、市民が市役所に訪れなくても手続きできる仕組みを作っていくべき
- 機能と市民の利便性の視点から、分散すべき機能と集約すべき機能とを明確にするべき
- テレビ電話等を使ったオペレータ対応による庁舎内での窓口の一元化と、ネットを使った事前ヒアリング体制により、庁舎の集約・分散はいずれの形であっても良いと思う、実現すればコールセンター担当者は在宅勤務も可能かと(主婦の積極採用)、現段階で、窓口でたらい回しにしているので、場所にこだわりはない
- どれだけ分散しているか把握していないので回答出来ないが、ミニバス等の公共交通の活性化で民間の活力利用を模索すべき
- 21世紀の行政自治体業務を見直して新しいコンセプトに基づく人員と市庁舎の在り方を示して、新庁舎の整備を検討すべき
- 庁舎整備はいずれ必要であるにしても、市民への負担を最小限にすべき
- 現在の場所はサテライトとして市民が特に必要な手続きのみに集約し、庁舎へはシャトルバスを配備。議会・執務などは郊外へ移す方法もあるのではないかと
- むしろ関連部署ごとに市内のいろいろな場所に分散させたほうが、来訪者が集中しなくていいような気がする
- 人口減少や高齢化等、社会給付負担の今後の増加を見越し、省エネ、省コスト、機能効率化、等の観点からの最適化を模索してほしい、結論だけを先に持ってくるのには賛成しない、また、日常の市民サービスについては、IT活用、民間への委託含め、市役所に出向く必要性を削減すべき
- 職員の数が多すぎるのではないですか?もっと、支所を活用すべき
- 分散した庁舎の維持管理費用等を縮減するために集約化すべき

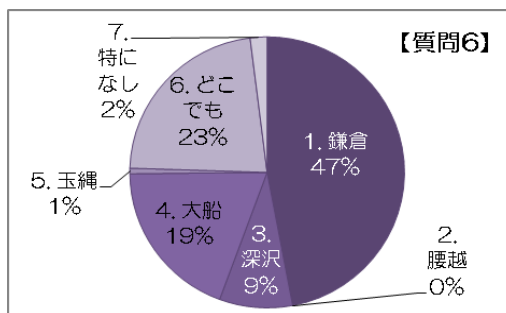


【経営企画課】

将来的な庁舎整備について、利便性やコスト縮減のために集約化すべきというご意見が合せて約70%であることが分かりました。その他の意見も参考に、さらに検討を進めてまいります。

【質問6】(必須) 本庁舎のあり方を考える際、本庁舎の位置について、どこの地域にあるべきと考えますか。

1. 鎌倉地域	71 名
2. 腰越地域	0 名
3. 深沢地域	13 名
4. 大船地域	29 名
5. 玉縄地域	1 名
6. どこでも構わない	34 名
7. 特になし、わからない	3 名



【経営企画課】

鎌倉地域にあるべきというご意見が約50%となり、これに次ぐご意見は、どこでも構わないというご意見で、約25%ということが分かりました。質問6-1の理由や条件も参考に、検討していきます。

【質問6-1】上記を本庁舎があるべき位置とした理由は何ですか。また、その位置とした場合に考慮すべき具体的な条件など
 がありますか。（交通の利便性、駐車場の確保など）

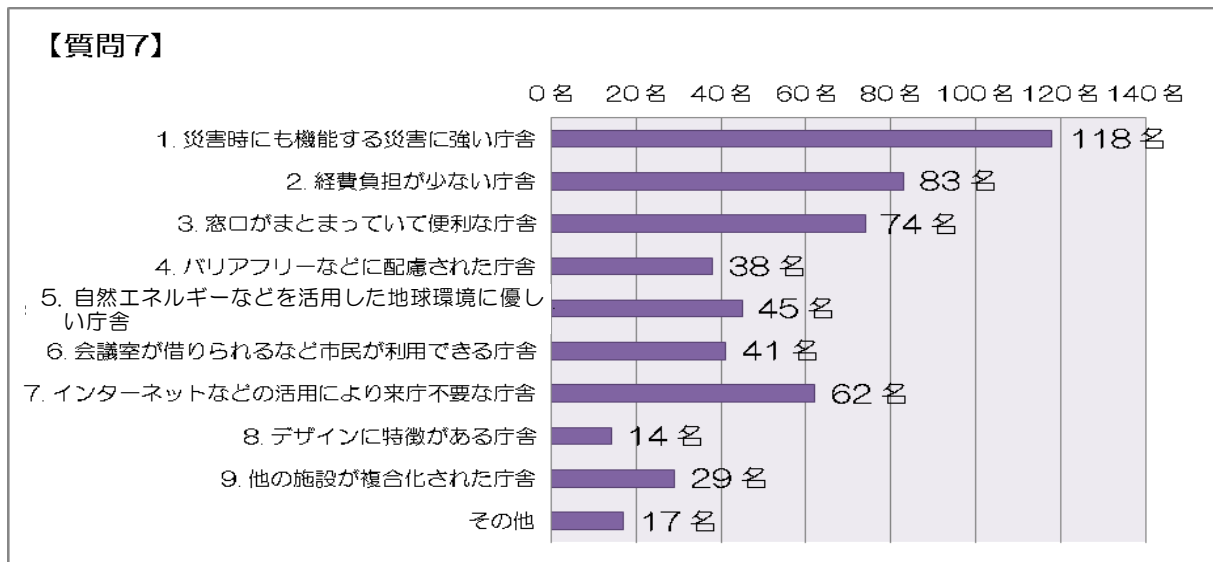
<p>【鎌倉地域】</p>	<p><理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 鎌倉の中心地だから ● 鎌倉の中心は旧鎌倉にあるべき ● 鎌倉駅周辺が鎌倉市の経済や行政の中心であるから ● 鎌倉市なのだから、鎌倉駅付近が望ましい ● 鎌倉らしい空間にあるべき ● 従来との継続性 ● 変更するメリットが少ない ● 最先端の考え方は、将来の人員や業務の増減に柔軟に対応できるよう、分散・賃貸型のオフィスである（建て替えの必要性がない） ● 駅から徒歩圏内でアクセスもよく、不便はない（交通の利便性） ● 住民や他の行政府との連携を考えると鎌倉駅近くがよい ● 税務署・商工会議所・中央図書館などの施設が鎌倉にあるので集約させたまがよい <p><条件></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 駐車場・駐輪場の確保 ● 駅から本庁舎に通ずる歩道を広く確保 ● 機能をコンパクトに、シフト化して正職員を減らすべき ● 市役所アプローチ部分を土日祭日に活用するなど、効率よく土地・建物を使用する ● 耐震と津波を考慮 ● 津波発生時等にも機能できるように工夫が必要 ● 古都鎌倉らしい外観の建物に ● 駐車場を防災拠点に改造できるように設計してはどうか ● 市役所周辺の道路を整備し道を広げるべき ● 庁内に職員食堂を設け昼の職員の歩みをなくす ● 高さ制限の順守 ● 分散しているものは、集約して、経費削減すべき
<p>【深沢地域】</p>	<p><理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 再開発予定地（JR跡地）がある ● 交通の要衝であり、津波対策の観点からも理想的である ● 駐車場の確保もでき、モノレールやバスでも便利である ● 市内の（地理的な）中心 ● 野村総合研究所の跡地の有効活用 <p><条件></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大船駅と病院とを経由するシャトルバスを運行する ● ネットで可能なものは極力それを利用し、本庁舎職務を少なくする ● 最寄駅からの巡回バスや路線バス化を検討する <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 玉縄地域には過疎化で空いている住居があるので、それを有効活用する ● 鎌倉地域だと観光シーズンは人も多く、かえって不便 ● 鎌倉地域は地震津波等、防災上不安がある ● 鎌倉地域には出張所を設ければ支障が出ないと思う ● 腰越地域は鎌倉地域と同様観光シーズンは江ノ電が不便、津波災害などの心配がある ● 旧市内は車禁止 ● 現在の場所は緑地・公園にする ● 地価の高い現在地での建て替えや長寿命化は長期的に意味が無い ● 鎌倉駅・大船駅周辺は、すでに空き地がなく、人が多く行きにくい（少し離れた場所で考えた方がよい）



【大船地域】	<p><理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 交通の利便性と立地できる土地がある ● JR3線、湘南モノレール、京急・江ノ電バスの集約地であり、市民が最も多く利用するエリアである ● 大船駅東口の再開発に合わせ、大船駅前に移転することで利便性が高まると考える ● 鎌倉市の経済活動の規模や人口の多さ等から、大船地区がこれからの鎌倉市の位置付けとして適当と考える ● 鎌倉市内で最も人口の多いエリアである ● 海岸から離れており津波リスクが軽減される ● 観光客が集中する場を避けることにより、市民にとっては便利になる <p><条件></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 山崎クリーンセンター予定地に建物を併設 ● 支所が相当古くなってきているので、こちらを本庁舎として建て替えを検討したらよい <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 鎌倉地域は歴史的な文化を中心に整備すべき ● 現在の市庁舎跡地は芝生の公園にする
【どこでも構わない】	<p><必須条件></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 交通の利便性と駐車場の確保 ● 駅が近く、土地が安く、駐輪場・駐車場が完備されていること ● 郊外にした場合は、JR鎌倉駅からのバスや、駐車場など、利便性の確保を ● 交通の便がよく、商業地から離れた場所 ● 本庁の機能が確保できる環境であればよい <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現状は観光地の中心的な場所なので利便性という点では好ましくないと考える ● 本庁に訪れなくてもよいIT化の仕組みを作るべき ● 今の土地を高層化してデベロップで住宅、商業施設にすればそこから建替費用がでないか ● まず新しい自治体行政の在り方についての考え方を構築してからにすべき ● 20年後には市民は市役所に行く必要がなくなる公算が大きいと言われている ● これからのビルは建てれば50年は耐用できるので、所在位置のプライオリティは低い ● 本庁舎の機能の多くを支所へ移管する、その際、支所の職員は増やさず、支所の職員はあらゆる仕事を担当する（本庁の部署の縦割りとししない）ようにする（発想の転換が必要） ● 多大な費用を要しない ● コスト効率と利便性を中心に、結果的に鎌倉市中心部にあれば問題ない ● 交通の便がよく、用地が得やすいところに、なるべく集約的に設置するのがよいが、現在の場所で充実させるのが現実的なのは ● 今の土地で狭い場合、鎌倉地域では土地を探すのは大変そう ● 電子化などによりロケーションフリー化が進むと想定
【特になし、わからない】	<p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 交通の利便性と駐車場の確保



【質問7】(必須) 市役所の本庁舎はどのような庁舎であるべきと考えますか。次の中から3つ選んでください。【複数選択可】



※「その他」の意見

- IT化すれば8割がた解決できる内容だと思う
- 古都鎌倉の雰囲気合うデザインの庁舎が良い、現在の庁舎は鎌倉らしい印象はない
- 全国のモデルケースとなる働き方が可能な庁舎
- 3つに絞れない、8.は??だがその他は全て検討事項に入るのではないかと
- 上記項目は“must”である、これからの鎌倉ならではのPublic Spaceのあり方を模索する市民協働が必要
- 現在の市役所の業務状態を続けるには上記の1から9の条件は必要、しかし新しい庁舎はそのあと40年は使うのです。銀行の窓口、駅の改札この10年で全く変わってしまったでしょう
- 鎌倉にふさわしい外観、箱的なビルでなく神社仏閣を連想させるようなデザイン
- 武家屋敷を連想できるデザインが良い
- 鎌倉らしい建物デザイン
- 外観よりも機能的で維持費用も安価な市民が利用しやすい庁舎が望ましい(市庁舎が市のシンボリックな建物である必要はない)
- 議会ホールやその付帯設備は本庁舎内でなくてもよい
- 無駄のない機能を絞った庁舎、または市民の憩いの場・交流の場としてもつかえる複合施設、働く人にも便利が良い庁舎
- IT技術を駆使して一度の相談で全てが解決できるような先進的な施設にして欲しい
- 議会活動が見える化された庁舎
- 離れても問題ない機能を整理して、2カ所位に分けるのも良いと思う
- 市民が、自由に交流できる広場、横須賀市、逗子市の実例を参照されたし
- 1) 災害時の住民用の食料等が備蓄された建物 2) 図書館、法務局、税務署等、近隣の公共施設が一体化された建物

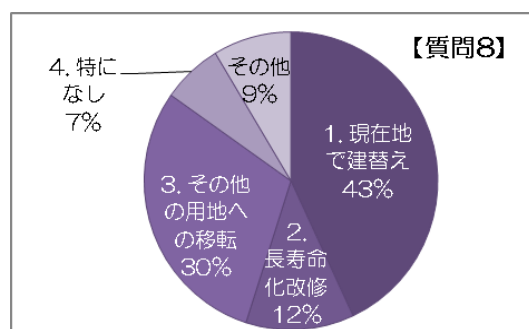


【経営企画課】

約80%の方が災害に強い庁舎であるべきとお考えであることが分かりました。また、行政サービスの提供方法として、インターネットなどの活用により来庁不要を望む声が約40%の方からあるなど、様々なご意見を聴くことができました。

【質問8】(必須) 現在の本庁舎やその敷地が抱える課題に対し、将来的に本庁舎をどのようにすべきと考えますか。

1. 現在地で建替え	65名
2. 長寿命化改修	18名
3. その他の用地への移転	45名
4. 特になし、わからない	10名
その他	13名



※「その他」の意見（同様のご意見は集約しています）

- 前提条件を慎重に検討しないとすべきとは言えない
- 床の確保が可能であれば… 2 無理であれば… 1
- これは将来展望を提示してたずねるべき質問です
- コスト的な住民負担を最小限にする
- 深沢JR跡地に関連施設と共に高層で建設すべき
- 図書館なども新たに含まれた複合施設なら現地のまま建て替えがいい、ただの本庁建て替えなら無駄
- 深沢の旧国鉄アパート完全撤去後のスペース活用はいかがか
- 市の一等地である現本庁舎を売却して、市政の為の財源にする、そして、民間の貸ビルに入れば十分と思う
- 今の人員を整理してパーティションの仕切りだけを変更すれば良いと思う
- 現在地、移転という結果ありきではなく、中長期的にどういう機能をどう配置していくのかを検討してほしい
- 大船駅近辺または、現在地建て替え
- 廃校などを改修して使用
- 現在の本庁舎は今小路西遺跡の上に建っており、歴史文化のまちづくりを進める本市の方針から考えてこの場所での建替えなどは論外と思います。現在地は発掘の上遺跡公園として整備をすすめることが、教育文化的にも、観光資源的にも最もふさわしい。貴重な文化遺産の存在がわかっていながら庁舎の整備などするべきではないと考えます

【経営企画課】

質問7まで順にお聞きし、ご意見としては、現在地建替え、移転、長寿命化改修の順で多いことが分かりました。検討を進めていく上での参考とさせていただきます。

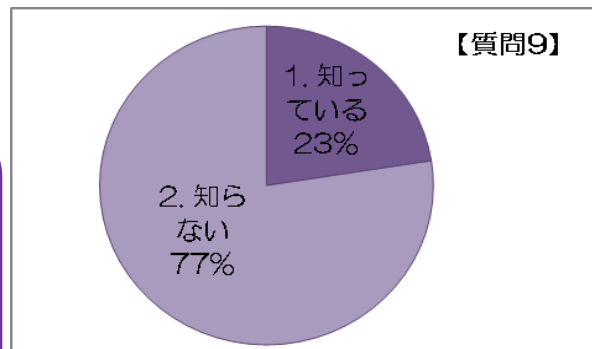


【(2) 地域拠点校の選定等】

【質問9】（必須）地域拠点校とは、各行政地域にある学習センターや老人福祉センター、図書館等の機能のうち、必要な機能を精査した上で、地域活動の場や多世代が多目的に利用できる多世代交流スペースとして機能を集約した学校です。

市では、平成28年度までに各行政地域の小中学校から1校を地域拠点校として選定することをご存知ですか。

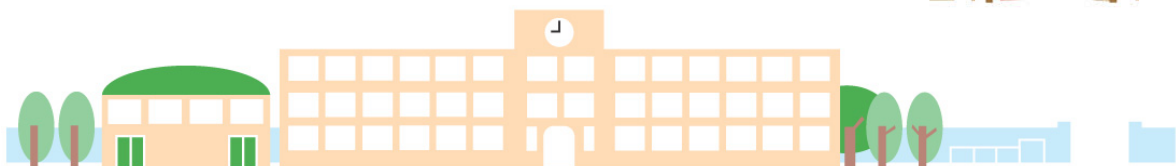
1. 知っている	34 名
2. 知らない	117 名



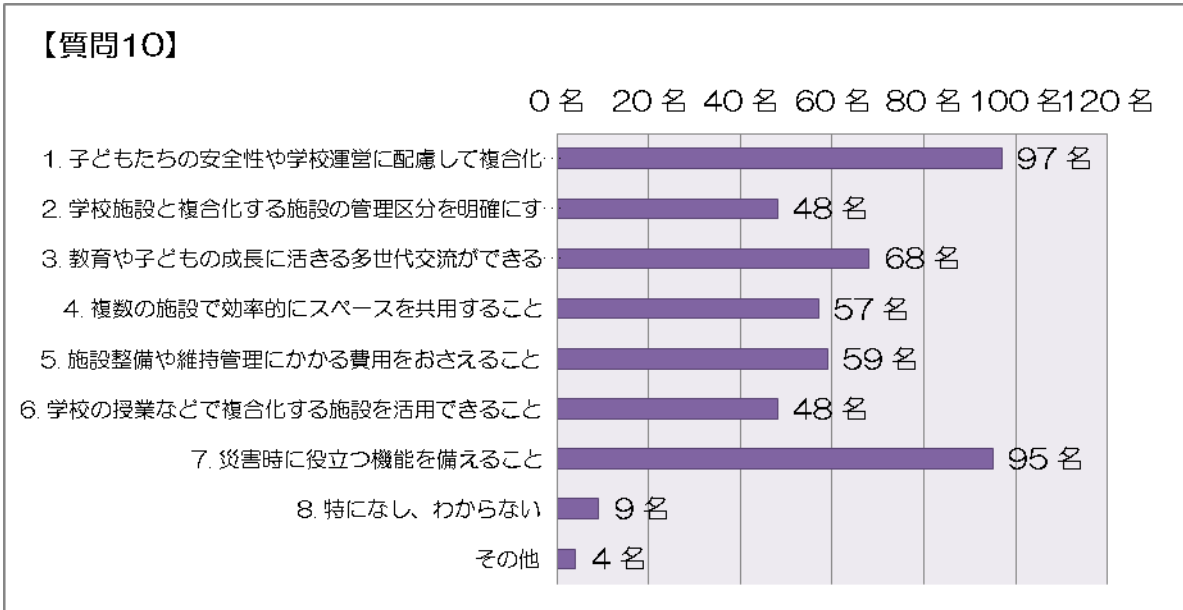
【経営企画課】

平成27年3月の公共施設再編計画の策定以来計画策定や再編の取組みについて周知してきましたが、地域拠点校の選定を検討していくことについては、2割程度の方の承知であることが分かりました。

引き続き、周知・啓発に努めていきます。



【質問10】(必須) 地域拠点校として整備する上で、大切なことについて考えをお聞かせください。【複数選択可】



※「その他」の意見（同様のご意見は集約しています）

- 人の多い少ないだけで地域拠点校を決めるのだとしたら、住民集中化がおこるため、鎌倉市全体に作るべき
- 教育委員会の所管を外して、市長の管理下に置き、市民の立場から施設使用の優先順位を決めること
- 目的と手段（方法）が交じり合っていますが、大変重要な事項です
- 学校、行政機関、地域住民が情報を共有し、丁寧な議論をした上で意思決定や運営管理がされるような仕組みづくりが大切、この過程に十分時間をかけて取り組むことで、行政主導ではない、それぞれの地域住民が責任をもって市政に携わることのできる地域自治が進められていくのではないのでしょうか？また、多世代交流スペースとして機能を集約するためには、学校のみならず寄贈施設など有効活用されていない土地や建物も対象にするべきではないのでしょうか？野村総研跡地、華頂宮邸、扇湖山荘、前田家旧宅等々、鎌倉市の公共施設やその維持管理費を網羅する一覧をまず作成し、市民と広く情報共有して見直しがされなければ、この再編計画は机上の空論として市民の支持も協力も得られないと思います

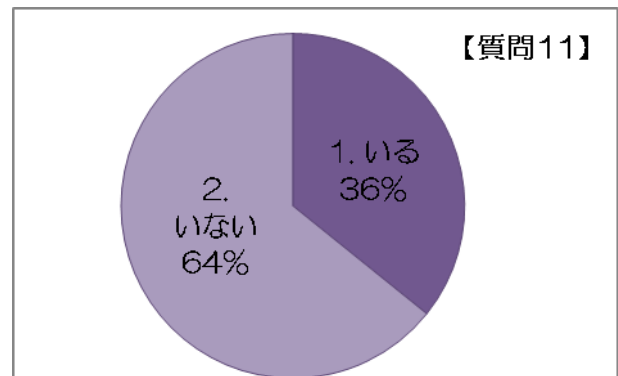
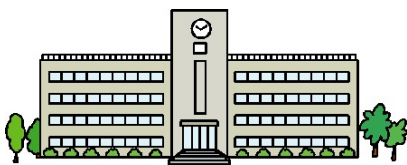
【経営企画課】

約60%の方が、子どもたちの安全性などに配慮して複合化すること、災害時に役立つ機能を備えることが大切だとお考えであることが分かりました。ご意見をふまえて検討してまいります。

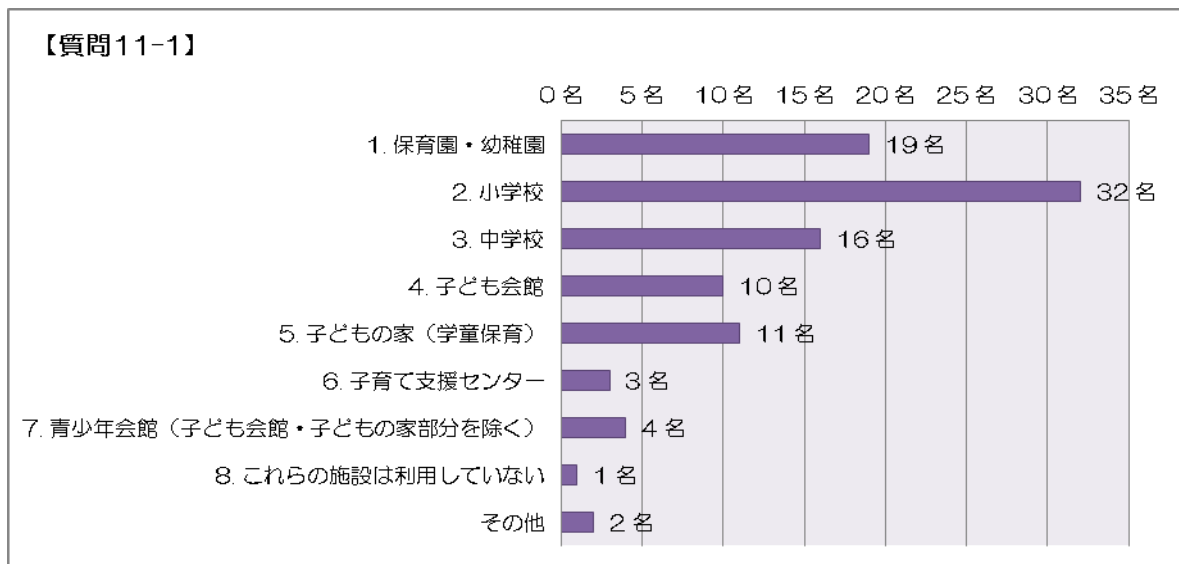


【質問11】(必須) 家族に中学生までのお子様はいますか。

1. いる	54名
2. いない	97名



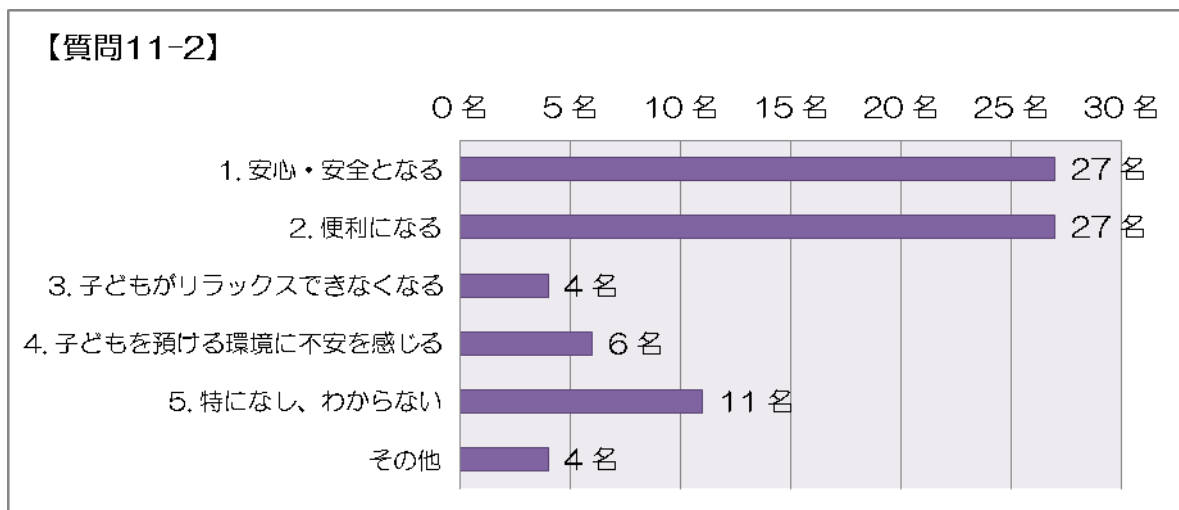
【質問11-1】(必須) 【質問11】で「1. いる」と回答した方にお聞きします。お子様が利用する学校や子育て支援施設などはどこですか。【複数選択可】



※「その他」の意見

- 図書館
- 藤沢市内の私立の中学校

【質問11-2】(必須) 【質問11】で「1. いる」と回答した方にお聞きします。地域拠点校だけでなく、その他の小学校へも建て替え等にあわせて子ども会館・子どもの家を複合化していく方針です。この複合化について、考えをお聞かせください。【複数選択可】



※「その他」の意見



- 子どもの家を小学校に併設するのは安心できるが、そこに子ども会館まで併設すると、たぶん子どもの家利用者以外の子が行きにくくなると考えられます
- その施設に居ついてしまう子供が増え不良化への恩恵となる施設になるしか無いと思うので、今更必要ないのではないのでしょうか
- 今の学童が狭く外でも遊べないので、学校の運動場が使える方がよい
- 学校からの移動が少なく、保護者としては安心であるが、子どもからすると、ずっと学校にいることになり、気持ちの切り替えができないのではないかと。施設の配置の工夫などが必要だと思う



【経営企画課】

家族にお子様がいいらっしゃる54名の回答者の中で、約60%の方のご家族に小学生のお子様がいること、その中で、子ども会館・子どもの家の小学校への複合化方針については、安心・安全や便利の視点から取組みを望むご意見が大半を占めることが分かりました。この点を中心に、また、その他のご意見も参考に検討してまいります。



【質問12】その他、このアンケートでお聞きした将来の本庁舎のあり方や地域拠点校の選定等についてのご意見を自由にご記入ください。

<p>【本庁舎のあり方】 * 移転を推進</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市役所本庁舎は鎌倉地域に拘る必要はないが、支所の機能を拡充して鎌倉地域に不便が出ないように配慮することも必要 ● 今の場所は高く売れるから、売って、別の場所に建て直すといよと思う ● 現在の本庁舎の土地を売り、深沢地区の再開発エリアに移転するのの一法 ● 現在の本庁舎は鎌倉駅からの利便性はあるものの、市全体として見た場合、老朽化はもとより災害対応や複合庁舎としても有用性等問題多く、鎌倉市庁舎＝鎌倉地域というこだわりや住民の意識を変えるべき ● 資産のスリム化とコスト軽減から現本庁舎は売却すべき、そして、民間の貸ビルを借りて執務をすれば十分 ● 現本庁舎は移転し、発掘調査をした後遺跡公園として整備するべき ● 大地震による津波で浸水域にある市役所は移転すべき、緊急時の早急な行政対応、警察、消防、社協との連携不可欠、消防本部が鎌倉地域から大船に移転したのと同じように早急に検討すべき
<p>* 要望・提案</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 本庁舎は「交通の利便性」を優先する ● 交通の便がよく商業地から離れた場所 ● 外観はといません、中味で勝負してほしい ● デザインなんかによって高額にならないよう、広くて機能性がある建物がいい ● 本庁舎の建替えに際しては、地上部については景観に配慮し木造中心とし、一方で、必要なスペースを地下部に確保し、道路下の地下も活用する ● 市庁舎は観光客に見られても鎌倉なんだと判る外装である必要があり、できるだけコンパクトに、経費の削減をしなくてはならない ● 庁舎は老朽化しており、機能的にも今の時代にマッチしていない感があるため、あまりコストをかけなくて良いが、鎌倉らしい、自然を感じるような建物に建て替えたなら良いと思う（エコな建物） ● 複合施設にして、他からの賃借料の収入を得るなど、中にコンビニがあると良い（切手等がかったり、ATMもあったりして便利）また、コンビニ近くに休憩スペースもあると、手続きの間、待っていたりするのもにも便利（飲み物を飲んだりしながら） ● エントランスホールなどにデザイン的工夫も凝らして、にぎわいのある場になるといいのではないだろうか ● 鎌倉らしい意識の高い思想を反映した施設にしていきたい ● 現在地は、手放したら二度と手に入らない位置なので、継続して有効に活用してほしい ● 現在地建て替へは、遺跡が出ることを覚悟して工事期間を検討すべき ● 市民活動の拠点となり、市民に開放する事、市役所の職員の為だけの施設ではいけない ● 大きな構想としては、鎌倉駅西口から市役所前交差点に至る一画をPPP（民活）で一体化建物とし、地下も一体化して広大な駐車場とするのがよい
<p>進め方・他（意見）</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本庁舎の計画は、焦らず、じっくり検討して欲しい ● 遅滞無く速やかに進めて頂きたいです ● あり方の前提条件を広く開示して市民にも検討させ、そのうえで相互で前向きな検討を進めることができたら理想 ● 現在は一番コストの高い時期にあると考えられる、これからオリンピックが終了してコストが落ち着く迄の間に課題を一つずつ明確にしていくことが重要 ● 本庁舎のあり方を考えるとき、行政の執務の場であるとともに、市民サービスの現場であり、市民同士や行政担当者などとの交流の場であるとも考えます ● 「将来のこと」も考え、インターネットなど柔軟な対応ができる窓口対応も検討する ● 窓口機能は、できるだけ本庁舎に行かずに済むよう、IT化と分散化を進めてほしい ● これからの市庁舎を考えるためには、これからの公民連携や地域連携、多世代交流等のあり方をしっかりと考えた上で、求められる空間像を検討すべき

	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本的には既存のものをうまく活用しないと、維持出来なくなる ● 高齢者には来庁は難しい方もいるので、訪問型のサービスも検討して欲しい ● そもそも市役所機能にそれだけの規模・スペース・人員が必要なのか、そこが精査されないまま次代においてどうするかを検討すること自体に無駄を感じてしまう ● 本庁舎は本当に必要なのか？ネットが当たり前となった時代に、施設維持に費用がかかるのはもったいない、防災施設やコミュニティ広場としての施設は必要だが ● 本庁舎のあり方は支庁との兼ね合いで決まるところもある、本庁舎が変わっても、普段利用しない市民には影響がないのならあまり関心は持たないように思う
<p>【地域拠点校】</p>  	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校への地域拠点化を進める前に、鎌倉地域を含む5地域の行政センターをそれぞれの地域拠点として再構築するべき ● 地域拠点校は、市民が使いやすい利便性のある地域から、実験校として慎重にやっけていくべきである、その際、市民の意見をよく吸い上げて欲しい ● 地域拠点校について：子どもの安全性は地域に開かれていればいる程、安全性は増すとの視点が必要（閉鎖的に管理することは不可能）、また、教育を特別扱いにすればするほど、教育の現場が市民から孤立していくことは知るべし ● 地域拠点校について、公共施設との複合化には不安がたくさんある ● 安全性や防犯面は重視していただき、子どもたちが安全に、また、集中して学習できる環境になるよう考えてほしい ● 今の子どもたちの環境はストレスが多い、そんな中、不特定多数の人間が入り出りする場所に学習スペースがあることが、良いことなのか、利便性を重視しないで欲しい ● 地域社会と学校とが有機的に結合し、教育活動の充実や地域を活性化するために地域の拠点校の整備だけでなく、市内全ての小・中学校が地域社会に開かれた存在として活用されることが望まれている ● 学童の通学時の交通事故をよく聞く、選定に当たっては、先ず、この対策を徹底して欲しい ● 地域拠点校については、該当する施設に関係する方々より、きちんとメリット、デメリットを聞いて、それらを解決していく形で進めてほしい（校長先生、保護者、子どもの家の職員及び利用者、町内会、地域サークル、など）
<p>【全般】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 将来の「税込増」なども考えて、利用していない学校など公共施設を、ベンチャービジネスなどに条件付き（鎌倉市に十年以上本社を置く事）で、低価格で利用させる「企業誘致」と「税込増期待」政策を展開する ● 第三者の適切な目で将来の本庁舎のあり方や地域拠点校の選定を進めることを強く望みます ● 何をするにも遅すぎる、この問題の解決方法を決めてから、計画立案すると良い（発想の転換が必要） ● なるべく前に情報を公開し、進行についても適宜広報すること ● 基本的に地域センターの集約以外は、現在の公共施設再編については賛成 ● 他のスポーツ施設なども集約すべき ● 本庁舎は設立して40年以上が経過しており、いずれにしても建て替えや庁舎機能の集約化は一体として進めば、市民にとっても利便性が高いので、市民の理解が得られる形で進めるのであれば推進すべきだと思うが、ITの効率化、という観点で、センターの集約を進めるのは反対であり、やはり4つのセンターは今後も地域住民の活動拠点として維持していくべきだ ● 市民の利便性が上がるのでは無く、庁舎に努めている人の環境が良くなるだけの施設に大切な税金を使わないでほしい ● ランニング(運営)コストの極小化に最大限留意されたい ● 先に、負担を残さないように、常に経費削減を頭に計画すべき ● 今の時期に建て直すべきか（今の施設でも十分）、鎌倉市としては、市役所に金を掛ける前に、「世界遺産」落選の反省を活かして、多様な建築、ミニ開発、高層化や集合住宅建設を阻止し、自然・風物、景観を守り、少しでも歴史的な一体感ある町を取り戻す活動に費用を回すべきである

	<ul style="list-style-type: none"> ● 平時から地域に密着した行政サービスがされているからこそ災害時の対応が迅速で適切なものになるのではないのでしょうか？職員が街の人々の状況をよく知っていることが重要 ● 中央に職員や機能を集約するのではなく、むしろ5地域に職員を分散し、必要な会議等は持ち回りで各地域拠点で行ったり、電子会議方式を取り入れるなどの工夫をして地域行政を重視していただきたい ● 本庁舎よりも、行政センターなどのあり方についての方が、無駄が多いように感じる。集約、民間への委託などで削減するべきだと思う ● 現在の市庁舎移転後の跡地には、コンサートホール等市民が娯楽や文化を楽しめる場所にする、扇ガ谷の歴史文化センターとリンクして講演会や映画会などを展開、鎌倉芸術館の立地があまりにも悪すぎるので、芸術館跡地は売却してもよい ● 災害時の司令塔は、市役所になの方がいい、例えば、岩瀬の横浜環状南線のトンネル上の部分の空き地に、災害発生時の司令塔を作っておくというのもひとつの方法、普段は道の駅として利益を生み出す施設として運用しておき、災害が発生したときには、市役所の対応部隊が常駐する、というのも、災害時の物資や人の流れは高速道路を使うため（高速道路は災害時に優先的な道路となる）に、その司令塔が市の中心部にあるよりも、高速道路のインター近くにあった方が指令を出しやすくなる、何もかもひとつの施設にまとめてしまうということよりも、なぜそこに必要なのかを考えて分散させた方が、何かと便利なような気がします ● ゴミ処理施設が先でしょう。しかし先端の処理施設と市庁舎の融合はある ● 本庁は災害対策において、中枢を担えるような強度を有することが望ましいが、それ以上に各所に緊急時の避難や備蓄に使えるような施設・公園等をもっと増やすべき、必ずしも避難を本庁舎に頼る必要はない ● 本庁舎内の照明を明るくしてください ● 体育館がほしい ● 市庁舎、市社協、生涯学習センターなど市関連施設のすべてでWIFI環境を整備すること
--	---



【経営企画課】

現在の本庁舎は多くの課題を抱えており、その中には、利用者の皆さまの利便性や、防災・減災に関わるものまで様々です。その課題解決は重要でありながら、喫緊性も併せ持っています。また、地域拠点校についても、子どもたちの学び舎と地域の公共施設の複合化という、新たな取り組みを始めなければなりません。その第一段階が各地域から地域拠点校としていく学校の選定になります。

まだまだ十分とは言えない認知度ですが、公共施設を次の世代に過大な負担を残さないものとしていくためにも、周知・啓発に努めながら、これらの取り組みを市民の皆さまとともに進めていきたいと考えております。

今後も、市民の皆さまからの貴重なご意見を参考にしながら、公共施設再編計画の取り組みを推進していきます。

ご協力ありがとうございました。

（参考）

直近の周知の取り組みとして、再編計画 NEWS 第 11 号（平成 27 年 12 月）を発行しています。

<http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/keiki/documents/news11.pdf>

【お問い合わせ先】

鎌倉市 経営企画部 秘書広報課 広報広聴担当

〒248-8686 鎌倉市御成町 18 番 10 号

TEL 0467 (23) 3000 内線 2506

FAX 0467 (23) 6505

e-mail : emoni2505@city.kamakura.kanagawa.jp

